

# ハロー フレンズ



ふじみの国際交流センター  
Fujimino International Cultural Exchange Center

2024年9月号(年3回発行) 第165号

## 未来に向けての取り組みが始まっています

今年の夏も猛暑に見舞われ、熱帯気候と言わんばかりでしたが、ハローフレンズを手にとってくれた方々は、お変わりありませんでしょうか？

さて、年初に行っていた総会報告が、この9月号で報告となりました。「あれ、変だな？」って思われる方もいるかもしれませんが、23年11月の総会で事業期間の変更を承認頂き、24年から事業期間を4月-3月とさせて頂きました。

この総会では、新たな体制になって二度目の理事交代があり、ふじみの国際交流センターの活動を長きに渡り支援頂きました沼田さんが退任されました。この場を借りて、御礼を申し上げます。今後も益々のご活躍を願う次第です。

FICECは新たに梅村理事、森理事を迎えまして、新体制での船出となりました。今後ともよろしくお願ひ致します。

新型コロナウイルスは、マスクを外しての生活に戻りました。しかし8月には第11派か？と言われる感染拡大がみられ、まだまだ予断を許さない状況かと思われまます。重度化しにくいとは言え、事業の推進にあたっては引き続き感染予防対策を取るよう努めたいと思ひまます。

ニュース等では昨年へ続き、海外からの訪問者が増え、円安の効果もあひままって、今や観光地ではオーバーツーリズムと言われるまでになりました。令和5年末の在留外国人の数は342万人弱であり、前年同時期と比べて33万6000人増加し過去最多となりました。

8月3日に行われた上福岡七夕祭りに今年も出店しましたが、会場では外国ルーツを持つ方々が多ひいたことが記憶に新しいところだす。ますます共に生活してると感じました。

ふじみの国際交流センターの安定的な運営は、地域で共に暮らす外国人の方にも影響を及ぼすことから「10年後に繋がる事業の在り方について」内部議論を始めました。3つの事業(NPOとしての事業、行政との協働事業、FICECの事業)を基本に、進め方を整理し、必要な資源の投入、また、利用者の拡大により、支援が追いついていない子供の学習支援事業は自治体にも支援をお願ひし、FICECを利用する方々が、安心出来るような取り組みをしてまひりたいと思ひまます。加えて「若い人」の育成だす。組織継続の観点からも重要なことだすので、人員の確保に向けた取り組みをしてまひります。

2024年度が、FICECに関わるみなさまにとって良い1年となります様、共に盛り上げて頂きたく、お願ひとなります。

ふじみの国際交流センターを今後ともよろしくお願ひ致します。  
(理事長 室井伸幸)



FICECはセンター内で行う生活相談や、日本語教室、子どもクラブ他、通常の事業に加えて、2市1町(ふじみ野市、富士見市、三芳町)で開催される多くのイベントに広報もかねて参加しています。スタッフやFICECに関わる外国人はイベントのために色々な準備を重ねています。

ここでは毎年スタッフが参加している、この秋の二つのイベントを紹介します。皆さんも興味がありましたらぜひ参加してください。

### 「2024年度平和祈念フェスティバル」に参加します

ふじみ野市で、9月28日(土曜日)に、平和への意識や思いを高め、平和活動の推進を図ることを目的として、平和祈念フェスティバルが開かれます。2024年度平和祈念フェスティバルのテーマは、「目指そう戦争のない世界」ー平和な未来に向けて私たちに出来ることーです。認定NPO法人パレスチナ子どものキャンペーンの中村哲也氏によるパレスチナの現状の講演や、支援活動の写真のパネル展示、葦原中学校の吹奏楽部による演奏が行われます。

この機会に平和の尊さについて学びませんか。(新井順子)

主催:ふじみ野市・ふじみ野市教育委員会  
企画・運営:ふじみ野市平和推進事業  
実行委員会

### 「富士見市国際交流フォーラム2024」に参加します

同じ地域に住む人々が、国籍に関わらずさまざまな文化を理解し、交流を楽しめる場として、国際交流フォーラムが開催されます。

FICECは午後1時20分から「わいわいワールドトーク」のコーナーで、外国籍の方々、一般参加の方たちを交えて、日本の暮らしや多文化などについて意見を交わすイベントを行います。

他にも、世界の言葉で書いてみよう、民族衣装の試着、セルビアフェスタ、太鼓の演奏、フラダンス、歌、国際交流関係団体の展示などもあります。どうぞお越しください。(茂木久美子)

日時:10月6日(日曜)、午後1時~午後4時  
場所:富士見市キラリふじみ、  
マルチホール

番外編・FICECを巣立った子ども達

ふじみの国際交流センターには、子ども達の学習支援の組織が二種類あります。一つは、義務教育年齢の子ども達が通う土曜日開催の「国際子どもクラブ」と、もう一つは、義務教育年齢を超えて来日した生徒達が上級学校進学を目指して勉強する「15歳以上の就学支援学級」です。どの生徒達も自分の夢を抱いて羽ばたいていきました。FICECを巣立った生徒達のその後を追ってみました。

学生時代の目標通り、中古車販売の自分の会社を作りました。今は、社長です。

…ウマル(パキスタン)



国際空港で通訳業務をしています。自分に合った仕事が見つかり、毎日楽しく働いています。

…チョウ(中国)



父の中華料理店を手伝っています。東京都ですが、食べに来てください。

…オウ(中国)

秋にアメリカの大学院に留学します。日本の故郷は、ふじみ野市なので、里帰りしたいです。

…ジョージ(フィリピン)

来年の大学受験に向かって、猛勉強中です。目標は、会計士になることです。

…アン(ベトナム)



高校で資格試験を5種類と自動車の運転免許を取りました。夢に向かい一步一步進むのみです。

…桑(中国)

運転免許を取りました。大学でIT関係を学びたいので、これからの進路を検討中しています。

…ラフル(バングラデシュ)



高校に入って、勉強が楽しくなりました。大学にも行きたくなり、もっと日本語の勉強が必要だと思いました。

…プラベス(ネパール)

## スタッフ紹介

## 不思議なご縁に導かれて 森和子

ふじみの国際交流センターとの出会いは2005年に文京学院大学で教員となり地域連携センターの学生たちが活動していることを知った時からでした。ずっと気になっていた活動でしたが関わることなく2023年3月に定年を迎えました。その後あるプロジェクトで神田さんと出会い、不思議なご縁を感じました。実は私自身今から45年前に海外の方から一方ならぬお世話になった経験があります。

当時大学を卒業して社会に出る前になって「自分とは何か」「何をしたいのか」という青年期のアイデンティティの大きな揺らぎの中で悩んでいました。そこで日本とは全く異なる価値観の国でないと見えてこないのではないかと思立ち、インドの学校を選び留学しました。学校からの入学許可はもらいましたがインド政府の学生ビザの発行に時間がかかりすぎて入学に間に合わなくなりインドに渡りました。しかし現地でも発行してもらえず役所の人から国外で学生ビ

ザを取ることを勧められました。たまたまスリランカ人のクラスメイトがおり、その友人が家族に助けてあげてほしいと手紙でお願いしてくれスリランカに渡りました。しかしビザは発行してもらえず、現地の学校に転校して2年を過ごしました。学生として過ごしながらも私の悩みは深くなる一方でしたが、クラスメイトの家族は余裕があったわけではないのに私を家に住まわせ、家族の一員のように受け入れてくれ徐々に元気になっていきました。留学が終わり帰国の飛行機の中で泣き続けた末に「このご恩は自分の生き方でお返しするしかない」という思いに至りました。それからは心の深い所でスリランカの家族にはずかしい生き方をしていないか、しっかりと恩返しできているかという目に導かれて生きてきました。ふじみの国際交流センターの皆様とのご縁に感謝しつつ理事を務めさせていただきたいと思っております。何卒宜しくお願い致します。

## 国際交流事業

## 「Café FICEC 世界の母の味を習う」

## スリランカの料理教室

海外で住んでいる外国人が一番恋しいものは、国を問わず「母の味」に違いありません。外国人にとってはお母さんから教わった一品が、慣れない日本での生活になれるための原動力になります。

そのお母さんの愛情たっぷりの料理を多くの人に知ってもらいたい趣旨で開催するFICECの国際交流事業「Café FICEC 世界の母の味を習う」をコロナ後初めてイオンタウンふじみ野「cotokoto」と共催しました。

今回はご夫婦で日本語教室に通っているスリランカのナディーシャさんとヘシャーンさんから、「ダール豆カレー」と「サンポール」を教えてくださいました。ナディーシャさんの英語の説明をスタッフが日本語に通訳しながら行われた料理教室は、料理だけではなく英語の勉強にもなる楽しい時間でした。

料理の後は、スリランカの世界遺産と文化などスライドを観ながらヘシャーンさんからスリランカの話も聞くことができました。

日本には今200か国近くの国の人が生活しています。わざわざ飛行機に乗らなくても、町にいな



ら自然とグローバル化を感じる事が出来ます。夢を追って国を離れて遠い国へ行く子どものために、作ってくれたお母さんの元気が出るその秘蔵の「レシピ」。豆がたっぷり入ったダール豆カレーと人参サラダのサンポールはヘルシーで美味しい母の味でした。

ご馳走様でした。ご参加いただいた皆さん有難うございました。  
(安銀柱)

## 第27回通常総会が終了しました

6月2日(日)、上福岡西公民館において第27回通常総会を開催しました。今回の総会は事業年度の変更のため2023年11月から2024年3月まで6ヶ月の

報告となりました。FICEC設立当初からの理事である沼田伊久俊氏が辞められ、新理事に森和子氏と梅村敏幸氏が選ばれました。



## ふじみ野市七夕祭りに参加しました。



8月3日土曜日、今年も猛暑の中ふじみ野市七夕祭りに参加し、ピンボールと飲み物販売を行いました。営業開始後、すぐに子どもたちの長い列ができ、その後も列が途切れることのない大人気ぶりでした。日本語教室の学習者さんやボランティアさんな

ど、普段FICECでしか会わない人たちも応援に駆けつけてくれ、夜の終了時刻までみんなで入れ替わり立ち替わり頑張りました。ピンボールのために用意したたくさんの景品や飲み物もすっかり無くなりました。



FICECにはいろいろな分野の方が視察に訪れます。中学生が学校の課題でFICECを選んで来てくれたり、NPOに関心がある大学生のグループが来訪したり、また最近急に外国人が増えた町の議員さんが共生のヒントに、と来られるなど年齢も目的もさまざまです。

今回は東京国際交流団体連絡会議のみなさんが団体訪問と日本語教室の見学に来られた後で、アンケートを送っていただきましたので、内容を紹介いたします。

### 東京国際交流団体連絡会議・研修会アンケート

実施日時：令和6年6月20日(木)

10:30～12:30

テーマ：団体訪問を通し国際交流協会の在り方

を考える

研修内容：成人向け日本語教室見学 30分  
事業説明、質疑・情報交換 75分

#### 【大変満足した】

・初めて他の国際交流協会を見学しました。東京ではなかったことも良かったです。意外と知ることがないのでやはり、参加する意義はあると思いました。

・ふじみ野市、富士見市、三芳町の行政と協力しながら、外国人が必要としているサービスの実現に向けて、活動されていました。フードバンクの有無など個別のサービス内容に当協会との差違を感じました。

・マンツーマンでの学習支援、フードバンク、医療通訳ボランティア充実に向けた行政へのはたらきかけなど、手厚い取り組みをされていると感じました。ボランティアさんのイラストはとても素敵でした！

・絵画展について：子どもたちに、単に絵の具を渡すのではなく、展覧会に参加する子に渡しておられると聞き、その子の能力・やる気を引き出す素晴らしい方法だと思いました。

#### 【満足した】

・全体的に事業運営方法や外国人の参加者数については、地域性の違いを感じました。

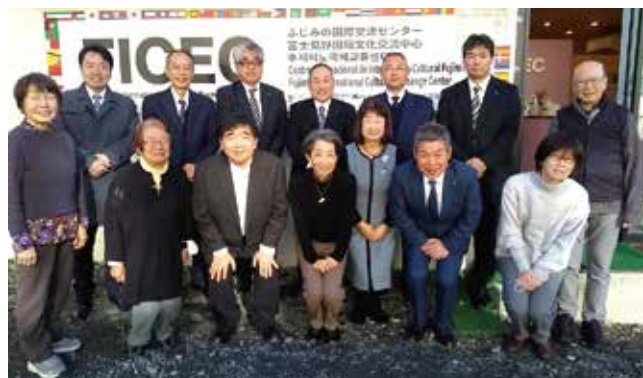
また、課題となっている共通点は地域差がないことも分かりました。

・もっとじっくりお話を伺いたかったです。時間が足りませんでした。限られた予算と人力の中で、本当に手厚い支援をされているのが分かりました。自治体では、なかなかここまで手厚い支援はできません。ふじみの国際交流センターさんのような活動団体がある自治体が正直羨ましいです。



#### 〈その他、視察等で来訪された団体〉

2月8日(木) 久御山町議会 8名



2月22日(木) 龍谷大学学生 4名



ふじみの国際交流センターのサポーターになってください

## マンスリーサポーター募集中!!

在留外国人に多言語での情報提供や、生活相談、日本語学習の場が必要と思う方、在留外国人の孤立を防ぐための活動が必要と考えている方や企業のみなさま、またボランティアをしたいけれど時間のない方はマンスリーサポーターとなってください。

一人でも多くの方々の支援をいただくことでFICECの事業を継続して行くことができます。

### ◎マンスリーサポートの流れ

①HPの申込フォーム、電話、FAX、ハガキ等でご連絡ください。

住所 〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡 5-4-2 5  
ふじみの国際交流センター マンスリーサポート係

電話 049-256-4290 または 049-269-6450 FAX 049-256-4291



②ご連絡いただいた方に、ゆうちょ銀行指定の自動払込申込書(3枚綴り)を送付します。

③ゆうちょ番号・寄付金額をご記入の上、押印して、返信用封筒にてご返信ください。

④毎月25日にゆうちょ銀行口座から自動引き落としで対応させていただきます。

### ◎スポットサポーター募集(不定期、または一回のみのサポート)

郵便振替口座(口座番号:00110-0-369511、

口座名:[特活]ふじみの国際交流センター)

または、現金書留でお願いいたします。



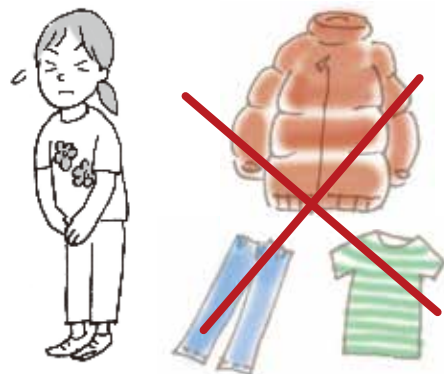
### おねがい

日頃から

FICECにご支援いただきありがとうございます。

誠に勝手ながら、衣類のご寄付につきましては利用がないためお断りしております。

ご理解のほど、どうぞよろしくお願いいたします。



○お店の広告を出しませんか?詳しくはFICECまでお問い合わせください。

FICECの活動をご支援ください  
**会員・賛助会員・寄付のご案内**

●活動を担う会員…正会員

正会員は、スタッフなどとして活動を担っていただく会員です。この会員は、総会などでの議決権をもちます。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

●FICECを財政的に支える会員…賛助会員

賛助会員は、FICECを財政的に支えていただく会員です。総会等での議決権はありませんが、FICECのイベントなどのご案内や、機関誌をお送りいたします。

年会費: 個人1口3,000円、団体1口10,000円

会員、賛助会員にはこの機関紙をお送りします

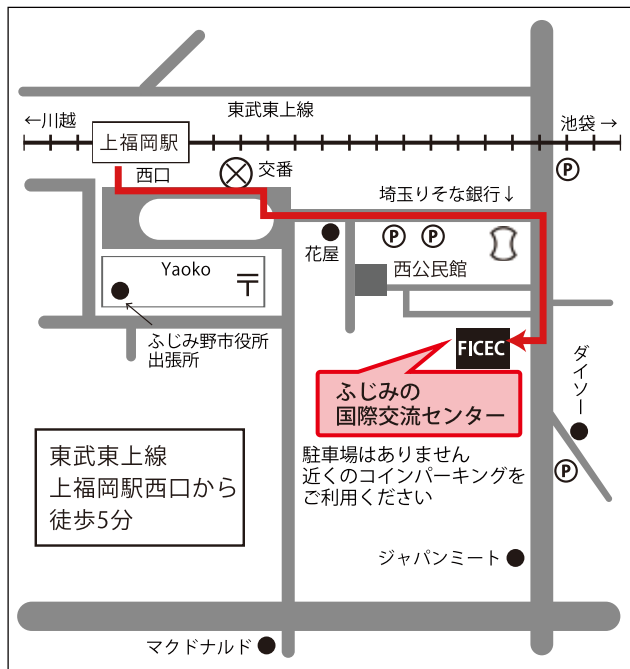
郵便振替口座: 00110-0-369511  
 口座名: [特活] ふじみの国際交流センター

**外国人生活相談 無料**

月曜日～金曜日 10:00～16:00  
 電話: 049-269-6450

困っている外国人の方がおられたら  
 FICECをご紹介ください。

※コピー代など料金がかかる場合があります



埼玉県指定・認定特定非営利活動法人  
**ふじみの国際交流センター**

〒356-0004 埼玉県ふじみ野市上福岡5-4-25  
 TEL: 049-256-4290 FAX: 049-256-4291  
 生活相談専用電話 049-269-6450

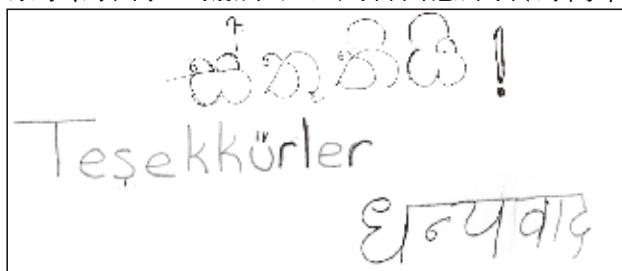
**ご寄付をいただいた方々**  
 ご支援ありがとうございます

●2023年8月1日～2024年8月15日(敬称略)

穴沢エミリン、新井順子、新井洋子、安銀柱、伊藤愛、  
 王即堯、大野渉、岡本直久、折橋美義、片倉ミン、  
 北林ジャネット、ギャレット三宅万里子、丘亜蘭、  
 久御山町議会、栗嶋三千代、栗田吉夫、木場ひろみ、  
 小林暁美、小林和恵、酒井有香、ジャリアヌソルン・  
 ジェット、清水昭彦、進洗子、ゾシスザン、高橋博、  
 高橋真梨子、田嶋浩子、チンテイヴァン、塚本秀樹、  
 デシ・インガワティ、戸塚咸子、沼田伊久俊、ハオ  
 ヤンリ、長谷川正江、東入間地区遊技業防犯協会、  
 藤澤園子、保坂佐紀恵、水野毅、茂木久美子、森田  
 有美子、矢澤美紀、山畑博子、吉井ジュリエッタ、  
 匿名1名

〈マンスリーサポーター〉

遠藤慧子、太田政男、小林久美、末吉智子、仲野  
 京子、野田恭三、藤井みどり、吉田憲郎、吉野高章



上段:シンハラ語、中段:トルコ語、下段:ネパール語で「ありがとう」

※埼玉県指定・認定NPO法人ふじみの国際交流センターに寄付をしてくださった方は、税金の優遇を受けることができます。

ふじみの国際交流センター サービス案内 (詳しくはお問い合わせください)		
外国人 ゲスト派遣	国際理解教育	3,000円+事務費+税
	外国料理教室	5,000円(材料費別途)+税
講師派遣	多文化共生講座	20,000円+税
	ボランティア講座	(活動運営のためご協力ください)
企画・運営	国際交流・国際理解に関するイベントや研修の企画・運営等	内容・予算に応じて相談
編集・出版	多言語による情報誌・ガイドブック・チラシなどの制作	
翻訳	婚姻関係、ビザ申請、履歴書等	A4 3,000円/ページ+税
通訳	半日6,000円+税	
見学・研修(資料代として)		1,000円/人、日+税

※別途交通費がかかる場合があります